

診療所の適正受診にご理解・ご協力ください



1. 休日や夜間の緊急性の低い受診は避けましょう

休日・夜間は医療機関に支払われる医療費も高く設定されており、医療費の増加につながります。休日・夜間に軽度な症状や緊急性の低い受診が重なりますと、緊急・重篤な急患への対応に支障をきたす恐れがあります。離島の限られた医療体制を守るため、緊急性が低い場合は土日や夜間の時間外受診を控え、平日の診療時間内に受診するようご協力をお願いします。

2. 受診するか迷ったときは、相談窓口を利用しましょう。

① 子どもの救急相談（15 歳未満）

お子様の急な発熱やケガなどの症状に応じて小児科医師、看護師が家庭での対処法や医療機関の受診について電話で相談を受け付けています。

#8000

「#」ダイヤルが利用できない電話をお持ちの方の場合は
「098-888-5230」へおかけ下さい。

【利用時間】

平日：午後 7 時～翌朝 8 時

土日・祝日・年末年始（12/29～1/3）：24 時間対応



② おとなの救急相談（15 歳以上）

「すぐに病院に行った方がよいのか」や「救急車を呼ぶべきか」など。悩んだりためらったりした時に、医師・看護師等の専門家に電話で相談できます。

#7119

「#」ダイヤルが利用できない電話をお持ちの方の場合は
「098-866-7119」へおかけ下さい。

【利用時間】 24 時間 365 日



3. 重複受診はやめましょう

同様の症状、または病気で複数の医療機関を受診する事はやめましょう。医療費を増やしてしまうだけでなく、重複する検査や投薬により体に悪影響を与えてしまう心配があります。今受けている治療に不安がある時は、そのことを医師に伝え話し合ってみましょう。

4. 薬のもらいすぎに注意しましょう

薬は用量・用法を守って服用しましょう。守らずに服用すると体に悪影響を与えてしまう心配があります。また、薬の飲み合わせによっては、副作用が生じることがあります。「お薬手帳」を活用し、処方されている薬を医師や薬剤師に伝え、薬の重複や飲み合わせを確認してもらいましょう。

5. ジェネリック医薬品を利用しましょう

ジェネリック医薬品（後発医薬品）とは新薬（先発医薬品）の特許期間が過ぎた後に同じ有効成分で製造した薬の事です。新薬に比べて開発費が低く抑えられる為、安価に製造できます。特に高血圧や糖尿病などで継続的に薬を服用している方は、薬代を減らす効果が期待できます。